

認定NPO法人 Present Garden to
Present Garden tree

令和7年度 地域連携推進会議 次第

●日 時：2025年3月20日(金) 10:00～11:00

●場 所：プレゼントガーデンツリー(2号棟 513号室)

【次第】

(事業所見学)

- 1 自己紹介
- 2 事業所紹介
- 3 地域連携推進会議の目的説明
- 4 議題
 - ・ 障害についての理解
 - ・ スタッフの様子について
 - ・ 利用者の日常生活の様子について
 - ・ 苦情、虐待、事故、ヒヤリハットの報告について
 - ・ 利用者の意向アンケートについて
- 5 意見交換



認定NPO法人 プレゼント ガーデントゥー

Present Garden to

認定 NPO 法人 Present Garden to

■理念

聖書の中に「この最も小さな者の一人にしたのは、すなわち、私にしたのである」という言葉があります。私たちの活動の全てはこの言葉に尽きます。障害を持った方々のための支援者であると同時に、時には友人であり、親であり、最も信頼できる人であることが求められます。互いに神様の作品である私達が、その人の人生が彩られるよう、磨かせていただける喜びと使命を感じる者でありたいと願います。



■法人概要

1997年に園芸療法小規模作業所として活動を開始し、2007年にNPO法人格を取得、2009年に就労継続支援B型に移行。障害福祉サービス事業と竹製楽器アンクルンの演奏事業を二つの柱として活動しています。2015年には認定NPO法人に認証。知的に障害を持つ方々(メンバー)が、植物を育てるという園芸活動をしなが、園芸療法の立場から知的・身体的・精神的・社会的な体験を毎日重ねて心身共に健康で生き甲斐のある人生を送ることができるような関わりを目指しています。また、園芸を中心として広い世界を体験すべく、文学・音楽・美術・体力トレーニング、自立に必要な各種プログラムを講師ボランティアに支えられ展開しています。園芸療法と音楽療法を組み合わせ合わせた、インドネシアの竹製民族楽器アンクルンの演奏活動ではステージ、イベント等に数多く出演し、ワークショップも行っています。



■Present Garden to

就労継続支援B型事業所とは、通常の事業所に雇用されることが難しく、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会を提供する事業所です。また就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練も支援しています。

Present Garden toでは「就労」のみに着目するのではなく、様々な事業所に適応することが難しい方や重度の利用者(メンバー)の方々にも園芸療法を土台に多くの活動を通して人生の中の「体験」をしていただくことを大切にしています。

■Present Garden tree (グループホーム-GH-)

障害を持たれた方々に共同生活を送る住居において必要な支援を提供する事業所です。

Present Garden toではメンバーの「親なき後」を長年考え準備してまいりました。保護者会が主導となりシェアハウスを立ち上げ、7年を経てメンバーも保護者も十分な準備を行い、2021年グループホーム「Present Garden tree」を開所いたしました。

■アンクルン・オーケストラ

インドネシアの竹製民族楽器"アンクルン"による音楽活動を行い、音大卒業の音楽療法士、専門伴奏家、ファシリテーター指導の下、「アンクルン・オーケストラ」として様々なイベントで演奏し、数年に一度定期演奏会を行っています。



■利用者・職員

利用者：9名(内GH：5名)

職員：14名(常勤・非常勤)

認定 NPO 法人 Present Garden to
Present Garden tree 地域連携推進会議 実施要領

1. はじめに

令和 4 年 6 月に「障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて～社会保障審議会障害者部会報告書～」が取りまとめられ、また令和 4 年 12 月には、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律が公布されました。

令和 7 年度以降は、共同生活援助においては、各事業所で地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」の開催及び会議の構成員の事業所見学機会を設けることが義務付けられました。

運営主体である本認定 NPO 法人 Present Garden to（以下、「法人」という。）では、同改正法等に沿って「Present Garden tree 地域連携推進会議」（以下、「会議」という。）を設立し、同改正法の趣旨に沿った運営を目指すこととする。

2. 会議の目的・役割

「会議」は、「Present Garden tree」と地域が連携することにより、以下の目的を達成するため、地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体である。

- (1) 利用者と地域の関係づくり
- (2) 地域の人への「Present Garden tree」や利用者に関する理解の促進
- (3) 「Present Garden tree」やサービスの透明性・質の確保
- (4) 利用者の権利擁護

3. 会議の構成と人数

会議は、上記の目的をより効果的にかつ確実に達成するため、単に会議体を設置するのみでなく、「会議」の全ての構成員は訪問者（以下「地域連携推進員」という。）となる。

「会議」の目的を踏まえて、会議の構成員は、①利用者、②利用者家族、③地域の関係者④福祉に知見のある人、⑤経営に知見のある人、⑥市区担当者などから、5 名で構成する。

構成員には、利用者、利用者家族、地域の関係者は必ず選出することとする。

4. 会議の開催頻度・設置主体

「会議」の開催については、最低でも「Present Garden tree」での会議を年 1 回以上、訪問を年 1 回以上実施する。

5. 会議の議題の内容

会議の議題の例として、「Present Garden tree」から利用者の日常生活の様子、地域の関係者に対する障害の理解推進、職員の支援の様子、運営状況（収支など）、行事案内などを報告し、地域関係者からは地域事情、地域のイベント等の連絡をしてもらう。

また構成員「地域連携推進員」からの訪問の印象、気づいた点などの報告してもらい、運営上の工夫や改善点の意見交換などの時間を設けることとする。

6. 地域連携推進員の訪問の実施方法訪問の際のポイント

別添「地域連携推進会議の手引き」の「7.地域連携推進員の訪問の実施方法」及び「8.地域連携推進員の訪問の際のポイント」記述に沿って実施する。

7. 会議の構成員、会議日程、会議議題、会議開催、会議場所、会議資料作成、議事録公表

(1) 発足時の会議の構成員は次のとおり

法人理事長、施設長、利用者、保護者、自治会長、棟長、見回り委員

(2) 会議日程・議題

- ・1週間前までに構成員に会議議題とともに通知する。

(3) 会議開催・場所

- ・会議は年一回以上実施する。また必要に応じ随時開催する。
- ・会議場所は、Present Garden tree とする。

(4) 会議資料の作成及び事務局員の設置

- ・法人理事長が指名した法人職員が事務局員として、その任に当たる。
- ・会議録等は「個人情報」に留意し、作成する。
- ・事務局員は会議の開催、運営、記録保存周知等を行う。

(5) 議事録の公表

- ・回覧可能となるよう、ホームページ、広報誌、事業所内掲示版などに公表する

8.その他

・本会議実施要領の定めに記載のない事項については、別添の「地域連携推進会議の手引き」の記載事項を適用する。

[附則] 本指針は、2026年3月1日から施行する。

■障害について

■利用者の日常生活

6:00	起床
6:00~7:00	洗面・身支度
7:00~8:15	朝食・歯磨き・出発準備
8:15~8:30	グループホーム(GH)出発・プレゼントガーデンへ
9:00~15:30	プレゼントガーデンにて作業
16:00	GH 帰宅
16:00~17:45	入浴
17:45~18:30	夕食
18:30~19:00	片づけ・ハミガキ
19:00~21:30	自由時間
21:30~22:00	就寝準備
22:00	就寝

2026年現在、週末・祝日等は自宅へ帰り、家の生活とGHの生活双方を大切にしています。

■スタッフの配置、状況

朝食支援、世話人、風呂支援、夜間支援

※常時最低1名は配置

■苦情、虐待、事故、ヒヤリハットに対する取り組み

令和7年度

苦情 2件（保護者・近隣住民）

虐待 0件

事故 0件

ヒヤリハット 2件（火元確認、利用者食事支援）

取り組み

- ・法人監事監査、苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化委員会の設置と実施（年一回）
- ・身体拘束適正化、虐待防止研修の実施（年一回）
- ・職員会議の実施と共有（二カ月に一回）
- ・保護者会の実施（二カ月に一回）

■利用者アンケート

Present Garden tree 利用者アンケート結果					はい	まあまあ	あんまり	いいえ
環境	1	グループホームはきれいで片付いていますか？			100%			
	2	グループホームでの生活に満足していますか？			100%			
	3	グループホームの雰囲気はよいですか？			100%			
	4	グループホームは安全だと感じますか？			100%			
	5	自分の部屋は使いやすいですか？			100%			
	6	共有スペースは使いやすいですか？			100%			
職員	7	スタッフはやさしいですか？			100%			
	8	スタッフに相談がしやすいですか？			100%			
	9	体調が悪い時に話を聞いてくれますか？			100%			
生活	10	献立や食事の味に満足していますか？			100%			
	11	入浴は気持ちよく入れていますか？			100%			
	12	掃除や洗濯など身の回りの難しい事は手伝ってもらえていますか？			100%			
	13	夜はよく眠れていますか？			60%	40%		
	14	グループホームにいてしんどくなったり、嫌なことはありませんか？			100%			
	15	グループホームで、やりたいことができていますか？			100%			
	16	一人暮らしをしたいと思いませんか？				20%		80%
【保護者の要望・コメント等】								
・ただただ、親も子も健康で現在の生活が末永く続きますように。								
・地域の皆様のご理解を得て事業所近くで暮らせることに感謝しています。								
・本人が時々はおやつを買いに買い物にいきたいそうです。								
・プレゼントガーデンの「家庭的な雰囲気のグループホーム」の思いが職員の皆さんに伝わり、安心して入所させていただき感謝です。								
・一人暮らしの希望はないと思います。ただ親とは離れたと思っているかもしれません。								
・家では何もしていないのが気になっています。GHでは自由時間どうしているのでしょうか。								

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

●日 時：2025年3月20日(金) 10:00~11:30

●場 所：プレゼントガーデンツリー(2号棟513号室)

—事業所見学—

1. 法人の概要と理念

プレゼントガーデンは認定NPO法人として、キリスト教を基盤に園芸療法を中心とした活動を展開しています。法人は1997年の小さな作業所から始まり、2015年に認定NPO法人の認証を受けました。園芸療法、エンゲートカウンセリング、音楽の三つの柱で、知的障害を持つ方々の支援を行っています。

2. 事業内容

日中活動

- **就労継続支援B型**：園芸作業を通じた就労体験と工賃の提供
- 苗の販売や草刈り業務などで利用者が収入を得られる環境を整備
- 就労後は芸術活動やスイミング、ウォーキングなど多様な体験を提供

グループホーム運営

- プレゼントガーデンツリーという名称で、現在9人のメンバーが生活
- メンバーの平均年齢は42歳、最高齢は58歳
- 親亡き後を見据えた支援を実施

音楽活動

- アンクルンオーケストラによるコンサート活動
- 4~5年に一度、大きなホールで数百~1000名近い観客に向けて演奏

3. 知的障害への理解

知的障害のある方々は、日常生活を送る上で一般の方々よりも多くの手助けを必要とされています。複雑で抽象的な事柄の理解や、金銭管理、複雑な計算が困難な場合が多く、親亡き後の一人暮らしには何らかのサポートが必要です。

一つのことを習得するのに時間はかかりますが、できるようになると一生懸命に取り組み、理解が難しいことや言葉が上手に出ないため対人関係が難しい傾向があります。

4. グループホームの日常生活

時間帯	活動内容
6時	起床
6～8時	朝食準備
8時15分～8時半	施設へ出発（ウォーキング）
9時～3時半	日中活動（プレゼントガーデン）
3時半～4時	帰宅（ウォーキング）
4時～6時	入浴
6時前後	夕食
6時～8時	自由時間
10時	就寝

週末は家族と過ごし、365日ホーム生活ではなく、家族との時間も大切にしています。

5. 安全管理と課題への対応

苦情対応の事例

- **物音の問題**：ドアやトイレの閉まる音が響くという隣人からの指摘に対し、対策を実施
- **排泄問題**：保護者との丁寧なコミュニケーションにより誤解を解消

ヒヤリハット

- 火の消し忘れ
- 食事の大きさに関する窒息のリスク

虐待・事故対応

虐待や大きな事故は報告されていないと述べられています。

利用者アンケート結果

アンケート結果の報告と実施に際して保護者の確認を得ていること、またそのコメントが伝えられています。

6. 参加者からの意見・評価

自治会長

- グループホームの「空気感」が良い
- 親亡き後を見据えた運営が必要であることの重要性を認識
- 親の気持ちに寄り添った支援体制の大切さ

保護者代表

- メンバーたちが落ち着いて生活している
- スタッフの献身的な支援に感謝
- 親の生きがいとなっており、グループホームの継続を願っている

自治会役員

- メンバーの外出時の様子が元気に見える
- 食事内容の充実に好印象
- 園芸療法による気持ちの安定が良い影響をもたらしている

自治会役員・棟長

- 小人数での運営による細かいサービス提供が素晴らしい
- 草刈りなどの仕事で収入確保しつつ、その後にお楽しみの時間を設けるバランスが良い
- 園芸の季節変化に適応することで、気持ちの成長につながる点に共感
- 小規模であることのメリットを認識

音楽活動への期待

- 地域のイベント（夏祭りなど）での演奏の希望
- 小学校での福祉教育での活用提案
- コンサート開催による地域理解の促進

7. 今後の展開への期待

項目	参加者の意見
音楽活動	地域イベントでの演奏機会の拡大
地域理解	音楽やイベントを通じた啓発活動の重要性
スタッフ採用	団地内での口コミによる自然な採用が効果的
運営方針	小規模性を保ち、きめ細かい支援を継続することの価値
親子関係	親亡き後への準備と親のニーズの理解

まとめ

地域連携推進会議では、プレゼントガーデンの使命である「園芸を通じた人格的交わり」と「障害者の社会参加」について、地域の方々の深い理解と支援を得ることができました。参加者からは、グループホームの温かい雰囲気、丁寧な支援体制、そして小規模だからこそこできる個別対応への高い評価が寄せられています。今後は、音楽活動やイベントを通じた地域とのさらなる連携強化と、親たちの親亡き後への不安解消が重要な課題として認識されました。